

ること。・責任を負う能力を持っていること。・自由にしかも熱心に学校の活動に入れるように、家庭や両親から適当に独立していること。

などが身につけている子どもは、学校生活に入り込んでいく為の、最も基礎的なレディネスができていると考えられます。

また字を教える時には、子どもは次のような段階（レディネス）にまで到達している必要があります。

・本、記号、見出しなどを読むのを習う興味を持っていること。・印刷されていることば、記号などが表現できること。・物語り、詩、お話、など話せること。・続きものの筋が追っていけること。・リズムワードやシングルなことばの音に興味を持っていること。・左右、上下、内外、多い、少ない、長い・短かいなどのことばの意味を理解する用意ができていること。・物の類似や差異を指摘したり、比較することができること。・視覚筋肉がじゅうぶん発達していること。・ことばや物の道理について

常に興味と好奇心を寄せていること。・精神年齢が六才以上になっていること。

以上のことが身につけている子どもについてはじめて、字を教えること（読み方）の意義が明らかになってくるのでありますから、すでに、小学校に入学していてもまだ字を教える段階に達していない児童もありますし、まだ幼稚園、保育園に在園していても字を習うレディネスのじゅうぶんそなわっている子どももいるわけです。

読み方の他に書き方を教える場合にはさらに・手や、指の小さな筋肉が上手に使えること。・直線、曲線をはっきり書くことができること。が必要で

算数についての学習を始める前には、
・空間の概念（大、小）大きき（より大きい）、大きい、小さい、より小さい）、
・時間（朝、おひるすぎ、はやい、おそい、午前）、
・お金の値、
・タイムスベール（そのころ、ずっと以前に、今頃）、
などの概念をはっきりつかんでいることが必要です。

（吉田三和子）

幼児の教育 第五十九巻 第二号

二月号 © 定価五〇円

昭和三十五年一月二十五日印刷

昭和三十五年二月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所
フレーベル館にお願いいたします。